

## 【予算案等提案理由】

続いて、今回提案いたします新年度予算案について申し上げます。

一般会計のほか、8件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、本市の厳しい財政状況を考慮しつつ、予算を編成したところであります。

まず、歳入につきましては、市税や地方交付税の減等により、一般財源の総額が対前年度で3億円余の減収を見込む、非常に厳しい内容となりました。

このような状況を踏まえ、新年度の予算編成にあたりましては、令和2年度に策定した「中期財政運営方針」に掲げる事項を基本としたうえで、国の第3次補正予算を活用した令和2年度補正予算による事業対応や、事業の繰延べ、平準化などにより、予算総額の縮減と収支不足の圧縮に努めたところであります。

もとより、「第2次大田市総合計画」に掲げた将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」の実現に向けた施策につきましては、重点配分いたしております。

この結果、一般会計当初予算の総額は、対前年度11億5百万円、4.3%減の、244億円としたところであります。

主な事業としては、新年度より本格着手する「大田市駅東側まちづくり事業」、特別会計で実施する「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業」、秋に開業を予定する「仁摩地区道の駅整備事業」、令和4年4月から新たに処理委託する新可燃ごみ処理施設整備に関連する事業等であります。

このほか、国の交付金を活用して市道の法面对策や冠水対策を行う防災安全交付金事業や、全国植樹祭推進事業、日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」推進事業等であります。

また、産業振興や定住施策、出産・子育て施策や新大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保につきましても、推進施策として取り組んでまいります。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等につきましては、その対応調書を本日お手元に配布いたしております。

次に、令和2年度の補正予算案につきましては、一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計補正予算につきましては、総額2千6百万円余を減額するものであります。

国の第3次補正予算を活用した、志学まちづくりセンターの整備事業等を計上する一方、新型コロナウイルス感染症対策事業など各種事業の実績減を計上しており、補正後の一般会計の予算総額は、322億4千4百万円余となります。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案につきまして、本会議へ提案いたしております。詳細につきましては、所管部長並びに担当課長に説明させますので、十分にご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。